



エ 邦人被害ではないが、東ジャカルタの高級住宅に強盗が押し入り、計11人を脅し監禁し、結果6名が死亡した。

(2) 昨年1月14日に発生したジャカルタ中心部におけるテロ事件から1年が経過した。一方で、昨年末にもテロを企図したとしてテロリストが逮捕されており、今後もテロが発生する一般的脅威は存続していることを認識の上、引き続き注意してほしい。

#### 4 最近の医療事情等

(1) 先月、ジャカルタの病院では血液銀行から提供された血液については、完全に安全が担保されていない状態であることが判明した。輸血が必要な手術については、ジャカルタでは行わないことを推奨する。

(2) インドネシアで販売されている精力剤（バイアグラ等）は、その殆どが偽薬である。豪州では同偽薬による健康被害や死亡事例も報告されているので、購入や使用はしないこと。

#### 5 報告及び連絡

##### (1) 到着ビザ免除および外国人不法滞在問題

現地紙、邦字紙でも報道されているが、ルフット海洋担当調整大臣が到着ビザ免除を見直す方針を明らかにしている。背景には、外貨の獲得拡大と不法滞在者一掃があるようだ。現在、到着ビザ免除対象国は169ヶ国・地域に上るが、同大臣によれば主に観光客が少ない国を対象に行う方針とのこと。旅行代理店協会も同調しており、ビザ免除による観光客増加の効果が出ているのは50～60%程度とのこと。インドネシア観光省データによれば、昨年1月～10月の日本人観光客は前年比では微減してきている。

一方、中国人観光客は増加の一途を辿っており、3割以上のペースで急増。昨年10か月間にバリ島を訪れた中国人は82万人、外国人客全体の2割を占め、オーストラリアに次ぐ2位。3位の日本人客の4倍に上る。

しかしながら、インドネシア法務人権省によると、2016年に摘発された不法労働者は7,787人で、うち1,837人が中国人であった。不法労働者増加を背景にインドネシア政府は外国人監視を強化しているほか、不法就労者の増加を助長したとして観光用短期ビザ免除を見直す方針も示している。

ご承知のとおり、インドネシア政府が編制した外国人監視特別チーム（ティムポラ）による査察がジャカルタのみならず活動地域を地方にも拡大している。中部スラウェシ州ではティムポラの摘発により2016年1～10月までに26人を強制送還にしたほか、12月には日本人をはじめ中国人、韓国人など64人を不法労働者として摘発したとの報道があった。なお、マカッサル領事事務所が当局に確認したところ、報道とは異なり日本人は含まれていない旨の回答であった。

このように、到着ビザ免除と外国人不法滞在者問題には様々な動きや考え方もあるが、いずれにせよ引き続きの法令遵守をお願いしたい。

##### (2) 旅券紛失

正月を挟む12月20日～1月9日の年末年始約3週間に、新年の打ち上げ花火を観ていた際に足下に置いていた荷物が盗られる、日系の複数のレストランで置き引きに遭うなど、邦人のパスポート盗難・紛失事例が7件発生している。旅券の管理には引き続き注意願いたい。

##### (3) テロ情勢

インドネシア国家警察は、2016年だけでテロ容疑者170人を逮捕し、前年比2倍以上である旨公表した。年末には複数の自爆テロ未遂も発生したが、これらテロ計画は、いずれもシリアに渡ったインドネシア人IS戦闘員が、ISの過激主義に傾倒した若者らと通信アプリで連絡を取り合い、資金を送って爆弾の製造法を教え、テロ実行を扇動したとされている。

このようなSNSを用いたテロの扇動などは当局も実態把握は困難であることから、テロはいつ、どこでも起きうることを改めて認識いただき、被害に巻き込まれないよう注意をお願いする。

## 6 質疑応答, 各社(団体)からの報告等

### (報告)

1月初旬に日本からの出張者が、ジャカルタの空港入管にて「マルチプルビザの制度が1月に変わるの  
で、今後はビザ上の有効期限が2月以降であっても、そのビザは使えなくなる」と言われた。ただ、会社と  
して調査した結果、そのような情報は確認できなかった。参考までに報告する。

### (質問)

輸血に要する血液のスクリーニングが行われていないのは、ジャカルタの全ての病院なのか。一部病院の  
みなのか。

### (回答)

基本的に全ての病院で一部の疾患に対してスクリーニングが行われていない。高級な私立病院では、不急  
の手術であれば輸血前にその場で検査が可能であるが、緊急手術など検査を行う時間的余裕がない場合、検  
査せずに輸血されることとなる。

### (報告)

先日受けた報告によれば、5日、タンゲランBSD内のレストランで食事中、駐車していた車の車上荒ら  
し被害にあった模様。車内にあったカバンが盗まれ、中には現金200万円のほか、パソコンなども入って  
いた。

### (質問)

若い夫人からの育児相談や、若い男性からのメンタルヘルスに関する質問をよく受ける。JJC医療相談  
室がなくなった今、どこか相談できる場所はないか。

### (回答)

海外在留邦人のメンタルヘルスの問題は認識している。日本では厚労省主導により法令にてストレスチェ  
ックの実施が義務化されたが、海外での法制化は困難であろう。メンタルヘルスについては、自ら心を病ん  
でいると告白する人はいないので、上司や同僚など身近な人が目配りをし、心を痛めていることを察知して  
ほしい。

また、ジャカルタにも(インドネシア人の)精神科医はいるが、外国語による相談では医師に伝わりにく  
いため、母国語での相談が重要。一時帰国の上、日本の精神科医による診察を推奨する。

### (回答)

昨年10月末に医療相談室は閉鎖したが、年1回なるも専門相談は継続しているので活用してほしい。

メンタルヘルスについては、やはり身近な方々の気遣いや、会社による事前察知と早めの対応が重要と思  
われる。

### (質問)

2月15日の統一地方選挙と、3月8日～10日頃の選挙結果発表などが予定されているが、治安情勢に  
ついて教えてほしい。

(回答) 選挙の結果、過半数を獲得した候補者がいない場合、4月に決選投票となる。一方、アホック知事  
(候補)の裁判の行方も不透明であり、選挙結果、裁判状況により、大幅に状況も変わるため、現時点で治  
安情勢の予測は困難。大きなデモが行われる場合、大使館より領事メールを发出させていただくので参考に  
してほしい。

**(質問：J J C)**

一部の方からKITASの発行停止とともに、ITASオンラインとなることで、パスポート携行義務が生じるではないかと照会を受けている。

**(質問)**

ITASオンラインは通常A4サイズで印刷されるが、縮小したものを携行することでも問題はないか。

**(回答)**

大使館として報道などは承知しているが、具体的な取扱については確認中であるので、また改めて報告させていただく。